

氏名	太田武夫
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲第273号
学位授与の日付	昭和43年3月31日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系衛生学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	思春期女子における貧血の検診と事後管理 第1報 検診方法と結果の考察 第2報 思春期貧血者群と正常者群の特性 第3報 思春期貧血者の集団管理効果の検討
論文審査委員	教授 大平昌彦 教授 平木 潔 教授 緒方正名

学位論文内容の要旨

思春期女子に頻発する貧血については、既に数多くの臨床的な研究が報告されているが、最も組織的な健康集団としての特性を有する学校という集団についての保健活動の実施の中で、正常者群との対比によって、これら貧血者群の特性を明らかにしたものは少ない。

第一報においては、某高校女子学生全員の検血およびこれに伴う検診を実施し、その結果から検診方法に対する一定の結論を得ると共に、貧血者群の存在を統計的に明らかにした。更に、第二報ではこれら貧血者群の特性を検討する目的で、正常者群との検診結果を対比しつつ、学校保健の場で実践的に採用され得る検診方式を検討すると共に、その管理上の注目点を指摘した。

第三報では集団管理の一方式として集団投薬を実施し、薬剤投与に対する諸反応を検討すると共に、これを通じての貧血者群の諸特性を明らかにし、集団投薬に伴う集団管理効果についても併せて検討した。

(第一報 昭和43年5月日本学校保健学会機関紙「学校保健研究」掲載予定)

(第二報 昭和43年7月 “)

(第三報 昭和43年9月 “)

論文審査の結果の要旨

本研究は高校女子生徒を対象に思春期の女子に頻発する貧血についての衛生学的研究を行なったもので、貧血者群についての統計的観察、投薬を含む事後管理の効果など、検診方式から集団管理までの一貫した方法を確立し、保健活動、保健教育上意義ある多くの知見を得た。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。